

# 支店長の わがまち紹介 第94回



「ジャパンカップサイクルロードレース」



「FIBA 3×3ワールドツアー」

## 宇都宮市

筑波銀行は地域金融機関として、地域の皆様との密接な繋がりを持たせていただいております。「支店長のわがまち紹介」は、筑波銀行の支店長が所在エリアの市町村をご紹介させていただくコーナーです。

今回は栃木県宇都宮市です。宇都宮支店長が宇都宮市長 佐藤栄一氏に話を伺いました。

宇都宮市は第46回(2017年5月)の本コーナーでご紹介させていただきました。改めまして、宇都宮市の魅力や特徴、展望についてお聞かせください。  
(取材日:2021年3月1日)

### ■ 宇都宮といえば

宇都宮市は、東北新幹線で東京から約50分でアクセスできるほか、南北に東北自動車道、東西に北関東自動車道が通り、自動車での移動も便利な北関東の中心都市です。

市内には餃子を提供するお店が300店舗以上あり、餃子のまちとして全国的な知名度を誇るほか、新国立競技場にも使用された大谷石や、ジャズ、カクテルなどの魅力ある観光資源を有しています。

また、本市を拠点としたプロスポーツチームとして、バスケットボールの「宇都宮ブレックス」、サッカーの「栃木SC」、自転車の「宇都宮ブリッツェン」があり、様々なスポーツ観戦ができる環境が整っています。

さらに、本市では、アジア最高位の自転車ワンデイトレース「ジャパンカップサイクルロードレース」や、3人制バスケットボールの世界大会「FIBA 3×3ワールドツアー」、「餃子まつり」などの魅力的



宇都宮市長 佐藤 栄一氏



宇都宮支店長 伊藤 博之

※撮影のためマスクを外しています。

なイベントが毎年開催されており、市内外から多くの方が訪れています(令和2年は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止)。

### ■ 住みやすく子育てしやすいまち

産業面では、国内最大級の内陸型工業団地である清原工業団地をはじめとする7つの工業団地に多くの企業が集積する一方、いちごやトマトなどの多様な農産物を産出しており、商・工・農のバランスが良好に保たれています。

また、4年連続での保育所待機児童ゼロの達成や、4月から高校生までの医療費を無料化するなど、結婚から子育てまで切れ目のない支援に取り

組んでいます。

「住めば愉快だ宇都宮」を市のブランドメッセージとして発信していますが、自然環境と都市としての生活機能が程よく調和しており、民間調査会社が発表する各種ランキングなどでも高く評価されています。

- ・SDGs未来都市（令和元年度内閣府選定）
- ・住みよさランキング 全国第3位<sup>\*1</sup>
- ・財政健全度 全国第1位<sup>\*1</sup>
- ・共働き子育てしやすい街 全国第3位<sup>\*2</sup>

### ■ 宇都宮駅東口地区の整備

JR宇都宮駅東口地区では、「人・もの・情報」が集積・交流する魅力あるまちづくりを目指すとともに、広域かつ多様な交流や賑わいを創出するため、整備事業を進めています。

この事業では、平成30年度に野村不動産株式会社を代表とする企業グループ「うつのみやシンフォニー」を事業者として選定し、その後、官民連携（PPP）により、コンベンション施設などの公共施設と商業施設やホテルで構成する複合施設、高度専門病院などの一体的な整備に取り組んでいます。令和4年度には、本市の新たな顔として、まちびらきを迎える予定です。



宇都宮駅東口地区整備事業完成イメージ

### ■ 大谷地域の観光振興

本市の北西部にある大谷地域は、本市の特産物である大谷石の産地です。奇岩群や採掘によりつくり出された特異な景観などを有するほか、ロケ地としても人気の「大谷資料館」などがあり、観光拠点となっています。

本市に息づく「大谷石文化」は平成30年度に日本遺産に認定されました。今後は更なる観光資源の磨き上げを行うとともに、滞在型観光の促進を目的に国の登録有形文化財である「旧大谷公会堂」を活用した周遊拠点施設を、令和5年3月のオー

ブンを目指し整備していきます。

さらに、採取場跡地内の年間を通じて冷たい貯留水を「冷熱エネルギー」として活用し、いちごの栽培を行っています。栽培が難しい夏から秋にかけて収穫できるこのいちごは「大谷夏いちご」としてブランド化され、市内外の洋菓子店などで使用されています。



壮大な地下の大谷石採取場跡「大谷資料館」

### ■ 人口減少、少子・超高齢社会への対応

#### ネットワーク型コンパクトシティ（NCC）

市長に就任して5期目となりましたが、私は就任当初から本市が乗り越えるべき最大の課題として、人口減少、少子・超高齢社会への対応に取り組んできました。そのため、目指すべき持続可能な都市の姿として、全国に先駆けて「ネットワーク型コンパクトシティ（NCC）」を掲げ、JR宇都宮駅東口地区整備や、大谷周辺地域の振興など、本市の特性を生かした都市拠点や観光拠点の形成を進めるとともに、全ての市民が、住み慣れた地域で「安心・便利」に暮らし続けられるよう、市内各地域の拠点に、スーパーや病院など生活に便利な機能を集約した拠点づくりにも取り組んでいます。

さらに、こうした拠点を結ぶ、利便性の高い総合的な公共交通ネットワークを構築するため、LRT（次世代型路面電車）の整備や、市民の日常生活を支えるバス路線と地域内交通の充実など、骨格の強い都市構造の具現化を進めてきました。



LRT車両デザイン

全線新設としては全国初となるLRTは、JR宇都宮駅東口から芳賀町の本田技研北門までの14.6km区間を結び、朝夕は6分間隔、日中は10分間隔で

<sup>\*1</sup> 東洋経済新報社「都市データバック2020年版」人口50万人以上の都市

<sup>\*2</sup> 日経DUAL×日本経済新聞社「自治体の子育て支援制度に関する調査2020」人口50万人以上の都市

運行する予定です。令和5年3月の開業を目指し、現在、整備を進めています。

このLRTが魚の背骨のようにネットワークの軸となることで、小骨のように各地域に延びる路線バスも充実させていきます。



LRTの走る鬼怒川橋りょうの整備風景

そして小骨と小骨の間に、地域内交通を走らせることで隙間を埋めていき、市内のどこからでも公共交通を使って移動できる環境を整備します。

また、Suicaの機能と本市独自のポイントサービスなどを1枚のカードで提供できる新たな交通ICカードの導入にも取り組み、3月21日、全国初のサービスを開始します。

さらに、この交通ICカード「totra」を使って、6月頃には、市内路線バスは1乗車の運賃上限を400円とする「バスの上限運賃制度」を導入する予定です。その後も、より一層公共交通が使いやすい環境を整備していくことで、誰もが便利に快適に移動できるまちをつくっていきます。

このほか、LRT開業を控えるJR宇都宮駅東側では、LRTの効果として既に沿線でのマンション建設など民間投資が活発になっており、令和2年のJR宇都宮駅東口前の路線価の上昇率は北関東最大になったほか、沿線のゆいの杜地区ではこの5年間で人口が1.5倍に増加し、「ゆいの杜小学校」が今年4月に開校します。

このようなLRTの効果を市全体に波及させるため、LRTの沿線などにおいて様々なまちづくりの施策を講じながら、官民が協働して、今よりも、もっと移動しやすく、暮らしやすい新しい宇都宮をつくっていきます。



交通ICカード「totra」

## ■ 地域新電力会社を設立し、再生可能エネルギーを地産地消

脱炭素社会の構築を図るため、地域新電力会社を設立し、再生可能エネルギーの地産地消を行う取り組みも進めています。

地域新電力会社は、民間事業者と市で設立し、令和4年1月の事業開始を目指します。

市の清掃工場などでのバイオマス発電や、電力の固定価格買取期間が終了した市内の家庭用太陽光発電による再生可能エネルギーを、地域新電力会社で買い取り、市の公共施設やLRTなどに供給していきます。

このようにして「再生可能エネルギーの地産地消」を推進することで、本市の二酸化炭素排出量の削減や地域経済の活性化を図るとともに、電力売買で得られた収益を活用し、地域の低炭素化など市の地域課題の解決を図っていきます。

## ■ 誰もが豊かで便利に安心して暮らせる「スーパースマートシティ」を目指す

このように、本市はNCCをまちづくりの基盤としながら、市民生活の質の向上と、社会・経済活動の活性化が一層図られるように、あらゆる分野において、AIやICTなど先進技術を効果的に活用し、SDGsへの貢献の視点も取り入れ、子どもから高齢者まで誰もが、豊かで「安心・便利」に暮らすことができ、夢や希望がかなうまち「スーパースマートシティ」を実現していきます。

## ■ 筑波銀行に期待することをお聞かせください。

新型コロナウイルス感染症は地域社会や経済活動に大きな影響を与えました。本市におきましても、売り上げが減少した事業者への助成金や貸付・利子補給制度などの支援策を柔軟かつ迅速に実施してきましたが、今後もポストコロナの社会を見据えつつ、さらにきめ細かな支援に取り組んでいきます。

御行は、地域に根付いた銀行として、事業者や人との関りを通じて、様々な分野のノウハウやネットワーク、資金、情報などを蓄積されていると思います。

ぜひ、これらを生かし、本市の事業者に対する金融面の支援や経営指導、事業者と事業者を結ぶマッチングなどを通じて、地域経済の活性化のために引き続きお力をお貸しいただけますようお願いいたします。

写真提供：宇都宮市